麦わら帽をかぶり、ダツなどの魚を運ぶ漁師

よみがえる沖縄 1935

立命館大学国際平和ミュージアム
2019年度春季特別展

2019
4.13㊏–6.29㊏

立命館大学国際平和ミュージアム1階
中野記念ホール

140 ともに考え、ともにつくる 朝日新聞
朝日新聞創刊140周年記念事業

立命館大学 国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

■主催　立命館大学国際平和ミュージアム　朝日新聞社　沖縄タイムス社
■後援　京都府　京都市　京都府教育委員会　京都市教育委員会
京都市内博物館施設連絡協議会　朝日放送テレビ　京都新聞　KBS京都
■協力　東京大学大学院情報学環・渡邉英徳研究室　KYOTOGRAPHIE京都国際写真祭　フレームマン

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭
2019アソシエイテッドプログラム
KYOTO GRAPHIE international photography festival

太平洋戦争末期、過酷な戦火にさらされた沖縄。その10年前、沖縄には人々の平和な暮らしがありました。朝日新聞記者が1935年に撮影し、約80年を経て大阪本社で見つかった277コマのネガには、貴重な戦前の営みが写し取られていました。人工知能（AI）技術と住民の記憶に基づきカラー化した写真を含む約100点と、朝日新聞・沖縄タイムスの共同取材による解説などを通して「1935年の沖縄」が蘇ります。本展は2018年に日本新聞博物館（横浜市）で開催された企画写真展の巡回展。立命館大学国際平和ミュージアム所蔵の沖縄関連資料も展示します。

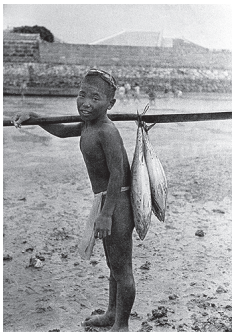
沖縄と書かれた印画紙の小箱と丸まったネガ、撮影状況を記したメモ

開館時間：9:30～16:30（入館は16:00まで）

休　館　日：日曜日（4.14、5.5は臨時開館）、4.30、5.2、5.6

入　館　料： 小学生＝200円（150円）　中・高生＝300円（250円）　大人＝400円（350円）

※（ ）内は20名以上の団体料金
※立命館で学ぶ人・働く人は無料
※常設展もあわせてご覧いただけます
※KYOTOGRAPHIE共通パスポート提示で当写真展のみ1回限り無料
※5.18（国際博物館の日）は無料

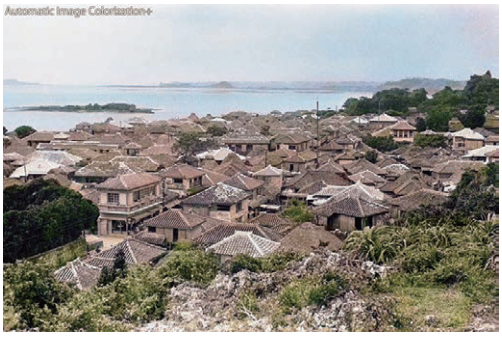

魚をかつぐ少年

バーキ（竹かご）を二段重ねにして頭に載せた女性たち

那覇―糸満間の約9キロを走った「軌道馬車」

人力車

那覇市内にあった雑貨店の様子



東京大学大学院情報学環・渡邉英徳研究室によってカラー化された那覇の市場「那覇ウフマチ（大市）」（左）と糸満中心部（右）

※カラー化にあたっては、早稲田大学・石川博教授らの研究グループが開発した人工知能（AI）を使った自動色づけ技術などが活用されました

期間中の催し ▶▶▶

4.27（土）13：00～15：00

＜座談会＆ギャラリートーク＞

よみがえる沖縄1935　ネガ発見秘話と記者たちの思い

朝日新聞大阪本社フォトアーカイブ：**清水隆**
朝日新聞西部本社報道センター：**吉田拓史**
沖縄タイムス編集局社会部南部報道部：**堀川幸太郎**

【会場】立命館大学国際平和ミュージアム　1階ロビー

※申込不要、参加無料（本展、常設展へは入館料が必要です）

立命館大学国際平和ミュージアム所蔵コーナー

地上戦で一変した沖縄。戦前の日常の生活にも迫りくる国家総動員体制の予兆がありました。その後の沖縄と日本全体がたどった道について、儀間比呂志版画作品や沖縄から送られた軍事郵便などを通じて見つめ直します。

版画　市場の女たち（儀間比呂志画 国際平和ミュージアム蔵）

立命館大学国際平和ミュージアム
〒603-8577　京都市北区等持院北町56-1
TEL:075-465-8151　FAX:075-465-7899
http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum

〈アクセス〉
JR・近鉄 京都駅／JR・地下鉄 二条駅／地下鉄 北大路駅／京阪電車 三条駅／阪急電車 烏丸駅／阪急電車 西院駅／地下鉄 西大路御池駅／JR円町駅より

- 市バス12・15・50・51・52・55・59、JRバスにて「立命館大学前」下車、徒歩5分
- 市バス204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分

※お車での来館はご遠慮ください

日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

京博連